

# —地域住民の取組み—

## ■ 紹介



### 石田 貴久さん

山北町で生まれ育ち、現在は、①林業（石田林商）、②ヤマメの養殖（八丁やまめ養殖センター）、③キャンプ場運営（ペガサスの家）の仕事をしています。他にも、かながわ水源地の案内人や西湘足利移住コンシェルジュ まちの案内人などの地域活動も行っています。

## ■ 3つの仕事と水源地域保全活動

間伐や草刈りなどの山の整備を行っている。刈り出した木を加工して薪や板などの製品を作っている。

### 山の環境整備



水源地域を訪れた人が自然に親しめるキャンプ場を運営している。育てたヤマメも提供している。

歴史ある養殖場を事業継続し、「八丁やまめ」というブランドヤマメを育てている。ヤマメの養殖には綺麗な水が必須。

### 魚を育てる



### 水源地域と都市住民をつなぐ



どの仕事も自然を相手にしているため、天候の変化や野生動物の出没などに大きく影響を受けます。特に未経験で引き継いだ養殖の仕事では、魚病リスクの管理や大雨時の対応など、常に苦勞が絶えません。それでも、自然の中で汗を流して働くこと、そして仕事を通じて水源地域と都市住民をつなげられることに大きなやりがいを感じています。



## ■ 川崎市民に向けメッセージ

水源地域とその水を使う地域の関係を深めることが大切だと思います。山北に足を運んでいただき、空気や水に振れ、そこで暮らす人々と話すことで、きっと楽しみながら、新たな気づきを得られると思います。山北町—川崎市交流事業など山北町を訪れる機会を見逃さずにチェックしてほしいです。お待ちしております！